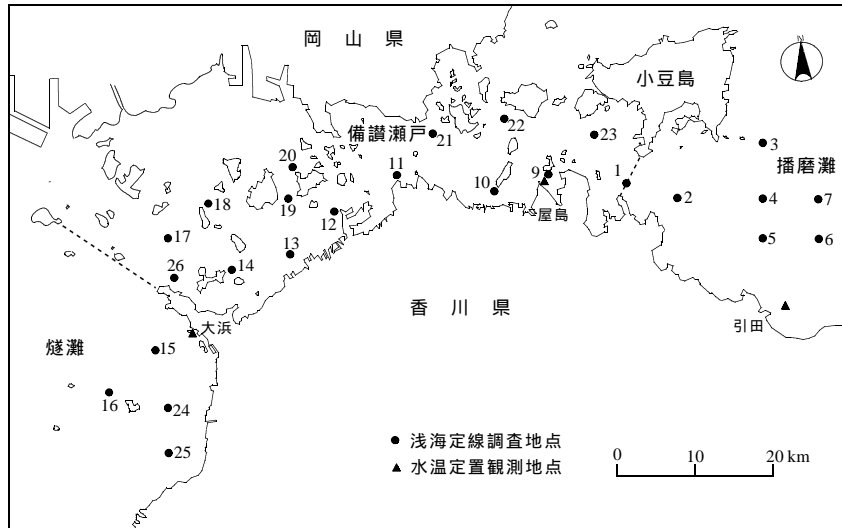


香川県漁海況速報 平成17年 1月 (H16-10号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成17年 1月14日 (播磨灘) 6日 (備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高めからかなり高め」、塩分は「著しく低め」、透明度は「やや低めから平年並み」、溶存酸素は「やや低め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	13.8	13.7	14.0	30.7	30.7	30.9	5.6	5.64	5.61
	平年値	12.4	12.4	12.4	32.5	32.4	32.5	7.9	5.94	5.90
	平年偏差	1.4	1.3	1.5	-1.7	-1.7	-1.6	-2.3	-0.30	-0.29
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	著しく低め	著しく低め	著しく低め	やや低め	やや低め	やや低め
備讃瀬戸	14地点平均値	13.0	13.0	13.1	30.3	30.3	30.4	5.9	5.70	5.68
	平年値	11.8	11.8	12.0	32.6	32.6	32.8	5.9	5.94	5.95
	平年偏差	1.2	1.2	1.1	-2.2	-2.2	-2.4	0.0	-0.24	-0.27
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	著しく低め	著しく低め	著しく低め	平年並み	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	13.4	13.4	13.7	30.8	30.8	31.0	8.4	5.77	5.70
	平年値	12.5	12.5	12.5	32.8	32.8	32.9	7.6	6.03	5.91
	平年偏差	0.9	0.9	1.2	-2.1	-2.0	-1.9	0.8	-0.26	-0.21
	状況	やや高め	やや高め	かなり高め	著しく低め	著しく低め	著しく低め	平年並み	やや低め	やや低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み 0 平年偏差 < 0.6 (: 標準偏差)

やや高め(やや低め) 0.6 平年偏差 < 1.3

かなり高め(かなり低め) 1.3 平年偏差 < 2.0

著しく高め(著しく低め) 2.0 平年偏差

各海域の観測日が離れたので、水温、塩分、透明度の等値線図は記載していない。

2) 定量観測(水温)

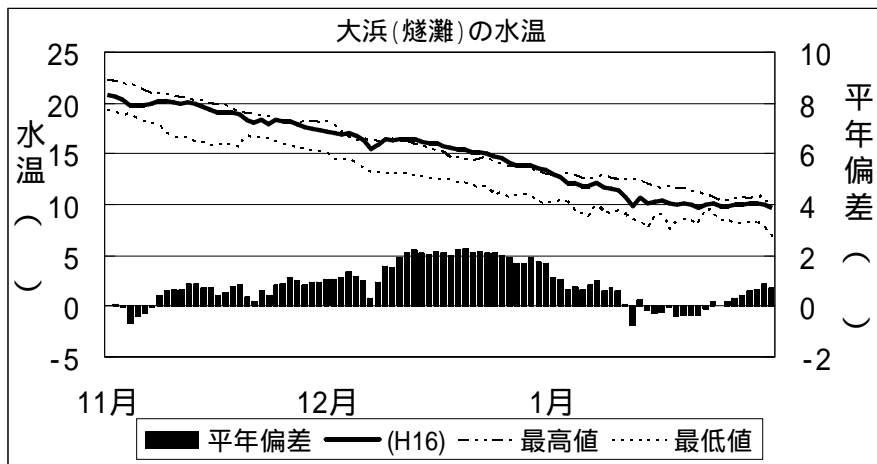
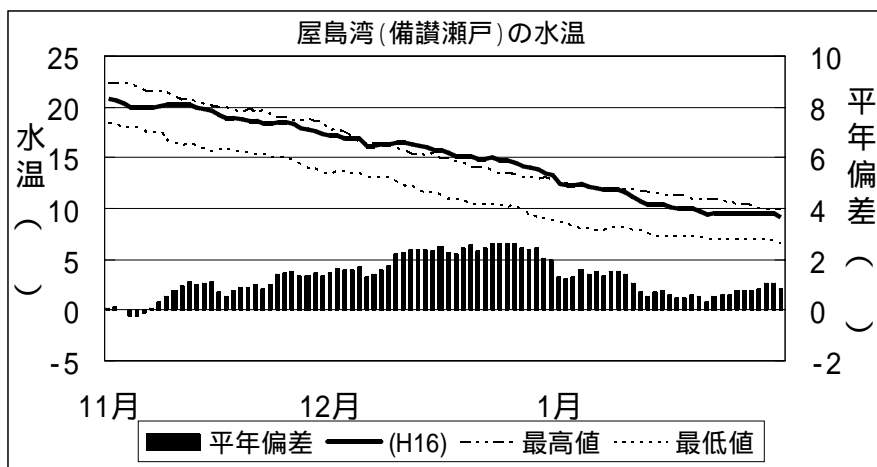
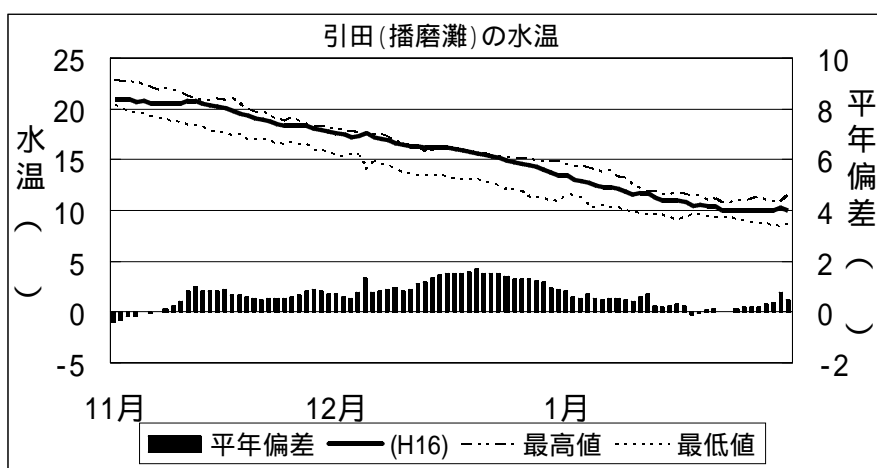
播磨灘(引田): 平年偏差は12月上旬に1 前後で推移し, 中旬には1.7 に大きくなった後, 小さくなり, 1月中旬から平年値前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 平年偏差は12月上旬1.7 前後で推移し, 中旬には更に大きくなり観測以来の最高水温を更新する2.5 前後で推移した。1月に入り小さくなり1 前後で推移している。

燧灘(大浜): 平年偏差は12月上旬1 前後で推移し, 中旬には一度低下した後, 大きくなり2.1 前後で推移した。1月に入り小さくなり中旬には平年値前後に小さくなった後, 下旬には0.8 前後に大きくなっている。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年

屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。
 備讃瀬戸：発生なし。
 燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成17年 1月14日（播磨灘）、6日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量 個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.30
備讃瀬戸平均	0.20	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	2.60	0.20
燧灘平均	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総平均	0.19	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	1.48	0.19

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	-	-	0.0%	0.0%
燧灘平均	-	0.0%	0.0%	0.0%
総平均	-	-	0.0%	0.0%

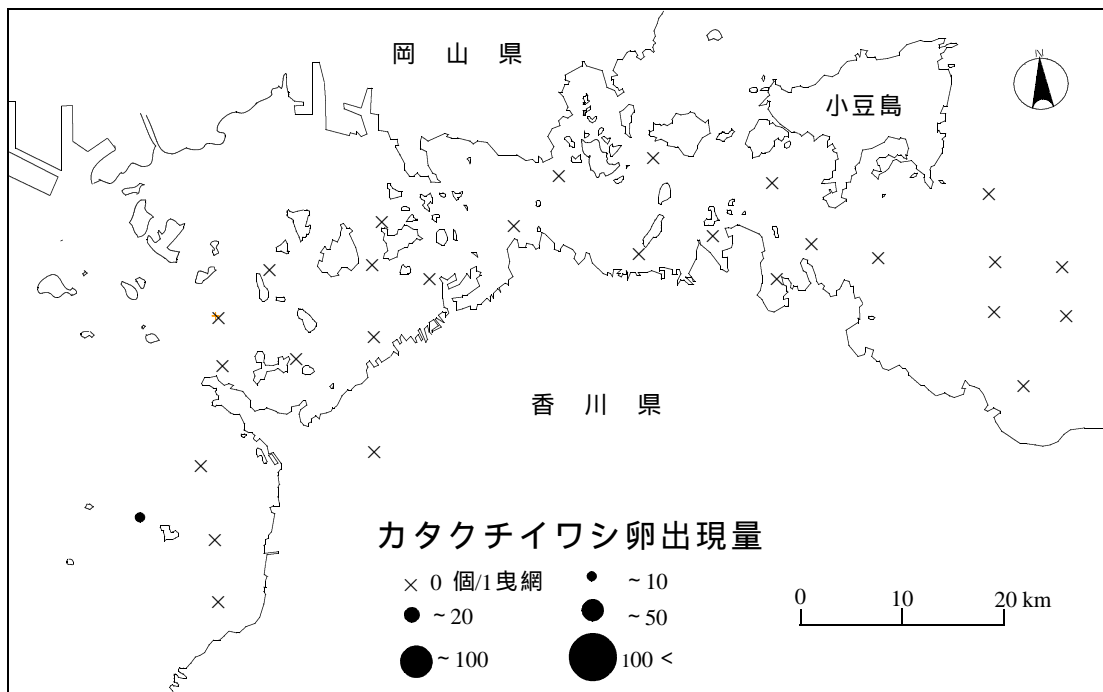
- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成15（2003）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成15（2003）年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は、次のとおりである。



2. 漁況

12月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網は主にウシノシタ類、スズキ、ガザミ、コウイカ類、ハギ類が漁獲されている。 ます網ではタチウオ、ハギ類、マダイ、スズキが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコ、マアナゴ、フグ類が漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業はむき身で100～150kg / 隻・日の好調な漁獲が続いている。
燧 灘	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マコガレイ、スズキ、ガザミ、コウイカ、マダコが漁獲されている。 ます網ではスズキ、コウイカ類が漁獲されている。